

第 101 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 平成 30 年 3 月 22 日 (木) 13:30~14:30
- 2 開催場所 湯河原町中央 2-2-1 湯河原町役場 第 2 庁舎 第 5 会議室
- 3 委員総数 12 名、出席委員数 7 名、欠席委員数 5 名
出席委員の氏名 深田真弓、館石晃一、大武宏、西海裕代、石黒英亀、力石朋香、苅谷和彦
欠席委員の氏名 浅沼宇雄、立見修司、小山みどり、出口直樹、小泉貴博、
放送局側出席者 野原裕、山崎浩一、金井周平
- 4 委員長挨拶 深田真弓
- 5 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した。
- 6 議 事 ①番組を聴いてのご意見 ②皆様からのご意見
- 7 議事の概要 試聴番組について説明

(1)番組へのご意見

特別番組：熱海梅園梅まつりイベント「新春梅見落語会」

番組概要：熱海梅園梅まつり期間中に開催の「新春梅見落語会」の模様を、「熱海市観光協会」と「熱海で落語を聴く会」の協力により特別番組として収録放送。1 月 24 日から 3 月 28 日まで、毎週水曜日午後 7 時から (30 分番組) 放送。

※4 月以降はレギュラー新番組として、主に地元で開催の寄席等の収録音源を放送。

8 審議内容 番組審議

(1)番組聴取

委員よりの意見

- ・熱海梅園梅まつり期間中の新春梅見落語会は毎回 50 人ぐらい集客がありリピーターも多い。高齢者だけでなく小学生にもファンがいる。
- ・落語音源は再放送が出来るので良い。
- ・情景などがイメージ出来て聴きやすい
- ・地元のネタが話に盛り込まれていたのが親近感がある。
- ・落語は耳だけで楽しめると思った。
- ・熱海や湯河原のネタが入ると特別感が出て良い。
- ・落語の聴き方、豆知識を入れると良いのでは？
- ・町役場でハワイへプロモーションでプロの落語家を連れて行った。2020 東京五輪に向けて日本の伝統文化を外国人に伝えることも必要だと思う。
- ・ながらで家でより車で一人手聴くほうがより伝わって良いと思った。怖い話なども聴きたいと思った。
- ・今の子供は映像に目をうばわれているが、落語は耳だけで情景を浮かべながら聴くので、想像力が高まり良いと思う。

- ・落語はテレビでたまに見ていたが、ラジオで聴くとより情景が想像できて良いと思った。
- ・観客の笑い声も入っていて温かみを感じられて良かった。
- ・次回の放送予定が入っていると良い。

(2) 会社からの答申

- Q. 60分番組での構成はどうなるのか？
- A. 短い話は1席。長い話は2席放送。
- Q. 次回の放送予定が決まっていれば番組の終わりに入れてはどうか？
- A. 番組内・新聞等でも告知するようにしたい
- A. 4月から熱海だけでなく湯河原で開催の寄席も収録し放送したいので紹介をお願いしたい。

9 その他会社からの報告

- ・次回5月が番組審議委員改選期。ご出席の委員の皆様引き続きお願いしたい
- ・3.14に下田海上保安部と「災害時の放送に関する協定」を締結した。
- ・3.24特別番組「MANZOのオールディーズパラダイス」を放送します。
- ・2018年4月番組改編について
毎週土／11:00～30分 湯河原ギャラリーステーション
～伊豆湯河原温泉湯河原駅観光案内所～
毎週土／20:00～60分 ラジオ寄席あたまゆがわら亭

10 挨拶 (株)FM熱海湯河原 代表取締役社長 野原裕

- ・伊豆湯河原温泉湯河原駅観光案内所を活用して伊豆湯河原、湯河原に関係するゲスト出演や駅前レポートなどを実施し観光客の方にもPR出来るような内容にしたい。
- ・落語番組をきっかけに共催イベントを年数回実施するのでぜひご協力をいただきたい。
- ・現在地元の民話のオリジナル朗読番組を企画している。
- ・災害時だけでなく平時で聴いてもらえるような番組づくりをしていきたい

11 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、
次回は、平成30年5月17日(木)に熱海で開催する予定です。